

のらばか踊り

一 ハアしや石下だ
わたとしや石下だ
米と紬のヨ
ホ
知らなきや
名乗る

二 おらが自慢の
土の香りを
世に塚残す
長塚節

三 二万町と民く
どんと民く
音頭せ
盆のせりて

四 唄いなされよ
唄いなされよ
器量がお唄
さがりやせぬ

五 豊田恋しや
館あとなら
将門さ
石まよ下

六 鬼怒波の流
筑波のおろし
は縦糸なら
横糸らば

七 わし若いとき
今じや孫子に
袖つまひか
かれ

八 老いも若き
明日の石下
手に手をと
咲く

九 土にきこえた
生れ在所は
長塚節が
町

十 切れたわらじ
もとはお米の
親粗末にや
ならぬ

十一 嫁も踊れよ
踊る踊れよ
我家に福が
くれる

十二 石下音頭で
明日はどなた
織りだす
紬

十三 紬織娘が
想恋がれる
野良馬鹿
おどりや